



平成24年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年3月6日

上場会社名 株式会社 ロック・フィールド

上場取引所 東 大

コード番号 2910 URL <http://www.rockfield.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岩田 弘三

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部部長

(氏名) 伊澤 修

TEL 078-435-2800

四半期報告書提出予定日 平成24年3月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年4月期第3四半期の業績(平成23年5月1日～平成24年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第3四半期	37,362	5.5	1,970	8.4	2,007	8.8	1,110	11.0
23年4月期第3四半期	35,426	—	1,817	—	1,845	—	1,000	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年4月期第3四半期	83.64	—
23年4月期第3四半期	75.33	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年4月期第3四半期	27,819	22,229	79.9
23年4月期	28,096	21,643	77.0

(参考) 自己資本 24年4月期第3四半期 22,229百万円 23年4月期 21,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年4月期	—	18.00	—	22.00	40.00
24年4月期	—	18.00	—	—	—
24年4月期(予想)	—	—	—	32.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年4月期の業績予想(平成23年5月1日～平成24年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,086	8.1	2,500	19.7	2,534	19.5	1,330	23.4	100.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年4月期3Q	13,394,374 株	23年4月期	13,394,374 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年4月期3Q	113,419 株	23年4月期	113,303 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年4月期3Q	13,281,022 株	23年4月期3Q	13,281,100 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間（平成23年5月1日～平成24年1月31日）における日本経済は、東日本大震災の影響により急激に落ち込んでいた景気が徐々に回復基調にあるものの、海外景気の減速とそれによる円高の長期化等、先行き不透明な状況が続きました。

食品業界におきましては、低迷する雇用情勢や所得環境が継続する中、消費者の節約志向並びにデフレ傾向が継続しており、当業界は激しい競争を繰り広げております。

このような環境下におきまして、当社は全社を挙げた業務改革やKAIZENの取り組みを継続して行い、生産性向上と経費コントロールによる収益体質の強化を図ってまいりました。また事業計画の3本柱である「サラダカンパニー事業戦略」「食育の実践と提案」「お客様満足100%の推進」の実現にも継続して取り組んでまいりました。

「サラダカンパニー事業戦略」として、各ブランドにおいて旬の素材を使用したサラダを提案し、普段の食卓だけでなく歳時記や特別な日の食卓にもサラダが欠かせないという新しいニーズを創りあげてまいりました。

次に「食育の実践と提案」におきましては、食卓シーンの提案としてお皿とセットオードブルを組み合わせで販売する「SOZAI KAISEKI」キャンペーンを各ブランドで行い、お客様から多くのご支持をいただきました。

また「お客様満足100%の推進」のため、品質や鮮度の管理にこだわりながらも商品供給の安定化に努め、食の安心・安全に取り組んでまいりました。

震災をきっかけに日本人の価値観の変化が進む中、クリスマス、年末年始には「家族で過ごす」「絆」等の販売促進に積極的に取り組んだ結果、お客様の支持を集め、12月は過去最大の売上高を記録いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高は37,362百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益は1,970百万円（前年同期比8.4%増）、経常利益は2,007百万円（前年同期比8.8%増）、四半期純利益は1,110百万円（前年同期比11.0%増）となりました。

ブランド別の売上は以下のとおりであります。

業態		平成23年4月期 第3四半期		平成24年4月期 第3四半期		対前期比
		売上	構成比	売上	構成比	
R F 1		百万円	%	百万円	%	%
	サラダ	15,392	43.4	16,423	43.9	106.7
	フライ	5,013	14.2	5,083	13.6	101.4
	その他そうざい	6,985	19.7	5,965	16.0	85.4
	小計	27,391	77.3	27,472	73.5	100.3
神戸コロッケ		2,972	8.4	2,904	7.8	97.7
いとはん・三日坊主		2,064	5.8	2,453	6.6	118.9
R F 1 A s i a・融合		671	1.9	517	1.4	76.9
ベジテリア		1,434	4.1	1,500	4.0	104.6
グリーングルメ		—	—	2,386	6.4	—
その他		891	2.5	127	0.3	14.3
合計		35,426	100.0	37,362	100.0	105.5

主なブランド別の概況は次のとおりであります。

「R F 1」ブランドにおきましては、今期取り組んできた「食シーン提案」の集大成の時期と捉え、クリスマス、年末年始の売上高の増加に努めました。期初より継続して取り組みを強化してきた「キッシュ」が好調だった他、サラダとの買いあわせのおかずとして「魚介のハーブグリル」がヒット商品として確立いたしました。またセットオードブルではクリスマス、年末年始に高付加価値な商品を展開したことによる客単価の上昇が売上高の増加につながりました。その結果、売上高は27,472百万円（前年同期比0.3%増）となりました。

「神戸コロッケ」ブランドにおきましては、定番商品であるクリームコロッケのベシャメルソースのブラッシュアップを行いました。また9月より販売開始いたしました「ソースコロッケ」では、12月の特別メニューとして『牡蠣の味噌クリームコロッケ』や『牛タンシチューコロッケ』『フォアグラ入りデミグラスコロッケ』等を展開

した結果、売上高は2,904百万円（前年同期比2.3%減）となりました。

「いとはん」ブランドにおきましては、旬の素材を使い、野菜の季節感・鮮度感を活かした「日本のさらだ」が引き続き好調に推移し、従来の定番商品に加え、クリスマス・年末年始の食シーンに合わせた『海老・蟹・帆立の贅沢和さらだ』『360日熟成生ハムの和さらだ山椒風味』等を展開し、よりお客様に支持されるブランドへと進化させました。また「日本のさらだ」のパートナーとして『霜降り白菜ロール』等「日本のおかず」の強化を行い、素材を活かした商品提案と四季折々の味を取り入れた食卓提案につながる品揃えを行ってまいりました。その結果、売上高は2,453百万円（前年同期比18.9%増）となりました。

「ベジテリア」ブランドにおきましては、野菜ジュースの強化に加え、冬の果実『山形のラ・フランス』『宮崎のマスクメロン』等、贅沢な素材を使用したジュースの提案を行い、お客様から大きな反響をいただきました。持ち帰り用スープにおきましては、『10種野菜のグリーンポタージュ』が定番メニューを上回るヒット商品となりました。その結果、売上高は1,500百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

（2）財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末と比べて277百万円減少し、27,819百万円となりました。これは、主に現金及び預金の減少507百万円、売掛金の増加465百万円等による流動資産の減少218百万円、有形固定資産の増加33百万円、投資その他の資産の減少142百万円等によるものであります。

一方、負債合計は、前事業年度末と比べて863百万円減少し、5,589百万円となりました。これは、主に賞与引当金の減少等による流動負債の減少755百万円、長期借入金の返済等による固定負債の減少108百万円等によるものであります。

純資産合計は、前事業年度末と比べて586百万円増加し、22,229百万円となりました。これは、主に四半期純利益1,110百万円、配当金の支払による利益剰余金の減少531百万円等によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は79.9%、1株当たり純資産額は1,673円82銭となりました。

（3）業績予想に関する定性的情報

平成24年4月期の業績予想につきましては、平成23年9月6日に公表した数値から変更はございません。

ただし、事業環境の変化等による今後の業績推移に応じて、予想数値と重要な乖離が見込まれる場合には速やかに開示を行う方針であります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年4月30日)	当第3四半期会計期間 (平成24年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,645	7,137
売掛金	3,767	4,233
製品	64	58
仕掛品	74	57
原材料及び貯蔵品	204	214
その他	543	380
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	12,299	12,081
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,694	7,496
土地	2,948	2,948
その他（純額）	2,347	2,578
有形固定資産合計	12,989	13,023
無形固定資産	387	437
投資その他の資産		
その他	2,430	2,287
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	2,420	2,277
固定資産合計	15,796	15,738
資産合計	28,096	27,819
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,193	1,105
1年内返済予定の長期借入金	328	249
未払法人税等	538	329
賞与引当金	485	257
その他	2,760	2,609
流動負債合計	5,306	4,551
固定負債		
長期借入金	466	285
その他	679	752
固定負債合計	1,145	1,037
負債合計	6,452	5,589

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年 4 月30日)	当第 3 四半期会計期間 (平成24年 1 月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,544	5,544
資本剰余金	5,861	5,861
利益剰余金	10,436	11,016
自己株式	△208	△209
株主資本合計	21,632	22,212
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10	17
評価・換算差額等合計	10	17
純資産合計	21,643	22,229
負債純資産合計	28,096	27,819

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成23年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成24年1月31日)
売上高	35,426	37,362
売上原価	15,127	15,772
売上総利益	20,298	21,590
販売費及び一般管理費	18,480	19,619
営業利益	1,817	1,970
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	4	5
保険配当金	14	16
その他	17	25
営業外収益合計	40	50
営業外費用		
支払利息	10	6
障害者雇用納付金	—	4
その他	2	2
営業外費用合計	12	12
経常利益	1,845	2,007
特別損失		
固定資産除却損	42	22
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	64	—
特別損失合計	107	22
税引前四半期純利益	1,738	1,985
法人税等	737	874
四半期純利益	1,000	1,110

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。